

治療・検査
手術・輸血 説明・同意書
麻酔・その他

067-633949、患者さんの診察を行うにあたって、患者さんの権利を守り安全・安心の診
 察を行うため、担当医師が検査・治療のための診療行為の内容などについて十分な説
 明を行い、患者さんから同意を得たうえで、診療を行いたいと考えています。
 S 42 18回中8回 治療について、担当医からの説明をお聞きになり、あなたが納得されま
 して、下記の所定欄に署名をされ、担当医までお渡し願います。
 060424
 なお、実施直前までにご意志を撤回されました場合でも、以後の診療において不利益
 をうけることは有りません。

下段の検査・治療等を受けるに際し、その内容（必要性、方法、期待し得る効果及び起こり得る合
 併症と後遺症の予測等）についての説明を受け、納得をいたしましたので実施に同意します。

平成 14 年 4 月 24 日

患者氏名 太田 順子

住 所 東京都豊島区

* 親族氏名
 *(患者との続柄)

* 住 所

注) *印欄は患者自身が未成年者、又は記載不能の場合に記載してください。

東京大学医学部附属病院長 殿

実施する治療内容等の説明事項

治療内容等の名称: 腫瘍切除術, 止血術.

私は、本日上記患者（又は親族） 殿に対し、この検査・治療等の実
 施に際し、その内容（必要性、方法、期待し得る効果及び起こり得る合併症と後遺症の予測等）につ
 いて、次のとおり説明をいたしました。

・説明内容の概要（必要があれば裏面もお使いください。）

1) 手術

2) 輸血 (-)

3) 腫瘍・疼痛

4) 感染 → 抗生剤

5) 神経痛 (現在に到らず、他に右下の神経付近にあり、
 一時的に神経痛に到る可能性がある)

平成 14 年 4 月 24 日

東京大学医学部附属病院: 科名 腫瘍科

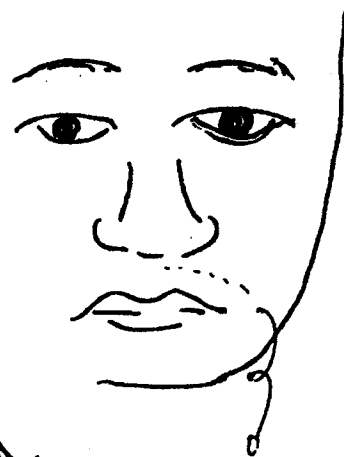
担当医・氏名

山本 敬

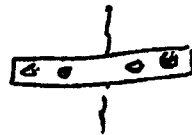
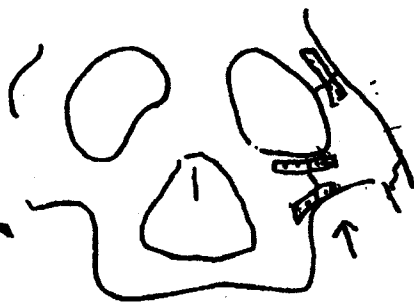
同席者: 氏名

[Redacted]

【補記】



同じ(鼻腔内)の図より
 (図)を複製し、



説明・同意書の記載要領・運用等について

1. 治療・検査・手術・麻酔・輸血・その他の項目は、該当するものを○で囲んでください。
2. 実施する検査・治療等の名称は、下段の治療内容等の名称欄に必ず記入してください。
3. 治療は、患者の身体に侵襲を加える処置及び放射線治療等が該当すると考えられますが、項目個々については担当医の判断に委ねられます。
4. 手術は、簡単な外来手術を除き全ての項目が該当する(手術名を記入)と考えられますが、項目個々については担当医(執刀医)の判断に委ねられます。
5. 麻酔は、手術に伴う腰椎麻酔と全身麻酔が該当すると考えられますが、項目個々(麻酔方法を記入)については麻酔医の判断に委ねられます。
6. 検査は、原則的に患者の身体に侵襲を加える項目が該当すると考えられますが、項目個々(検査名を記入)については担当医の判断に委ねられます。
7. 輸血は、原則的にすべての項目が該当すると考えられますが、項目個々については担当医の判断に委ねられます。
8. その他は、前記の各項目に属さないもので、該当する項目(例;投薬等)を考慮したのですが、項目個々(名称を記入)については担当医の判断に委ねられます。
9. 担当医は、下段の実施する治療内容等の説明事項欄に治療内容等の名称を記入し、説明概要及び説明相手の氏名を記載した後に、所属及び署名をしてください。治療実施前には、患者の納得・同意(上段の患者等の署名)を得るようにしてください。
10. 説明時には患者に対し、同意書の提出を拒否しても不利益とならないこと。また、同意書提出後において、実施直前まで何時でも撤回ができることを必ず付言した上で、同意書の提出を求めるようにしてください。
11. 十分な説明とは、当該治療行為における国内外で知られている副作用や否定的成績(死亡率、後遺症・合併症の発生率及び具体的結果など)及び本院、当該診療科と実施(担当)医師の同成績等を含んだ説明であることと考えられます。

注) この同意書の運用等については、各診療科、担当医の責任において行うこととなります。
 この様式を使用しない場合にも、説明の内容(概要)を記載した説明・同意書としての体裁を整えたものを作成願います。